

9月25日/10月8日

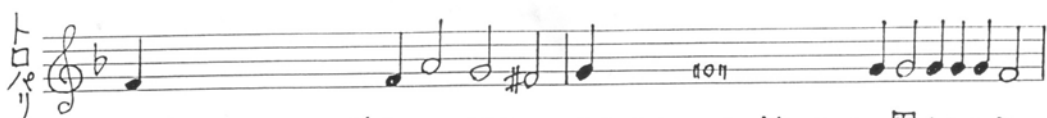
克肖なる我が神父ラドネズの奇蹟者セルギイの祭日

聖体礼儀

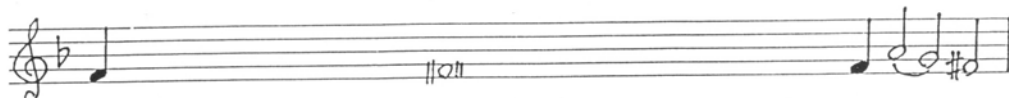
真福詞は、第一の規程の第三歌頌、第二の第六歌頌。

讃詞、第四調。

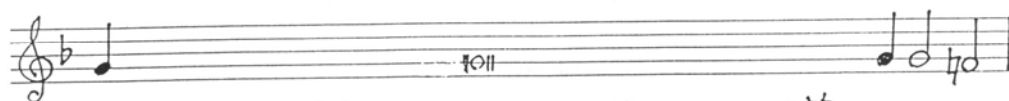
克肖なる我が神^{さんじ}父セルギイよ、爾はハリストス神の真の軍士として、暫時の生命に於て大いに諸欲に勝ち、諸徳を修め、祈禱、けい醒、禁食に於て爾の門徒の為に規範と為れり。故に至聖神^{さんじ}は爾の中に入りて、其行動を以て美しく爾を飾り給へり。求む、聖三者の前に勇毅を有つ者として、爾が智慧を以て集めたる牧群を記憶し、約せし如く、忘るるなく爾の諸子を眷み給へ。



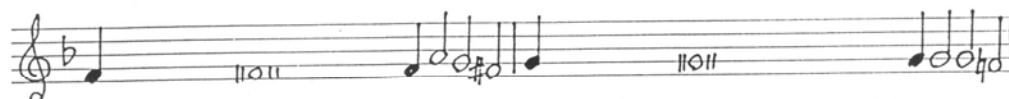
こくしょうなるわが神父セルギイよ なんじはハリストス神のおとの軍士として



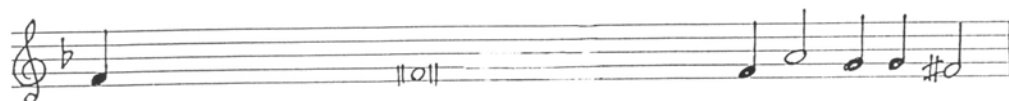
さんじのいのちにおいて、おおいに諸欲に勝ち、諸徳をおさめ



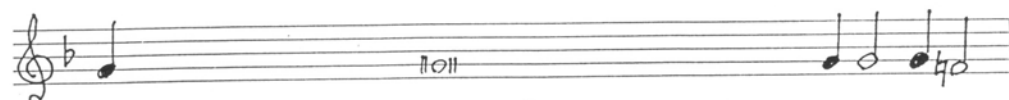
祈禱、けいせい 禁食において なんじの門徒のために規範となれり



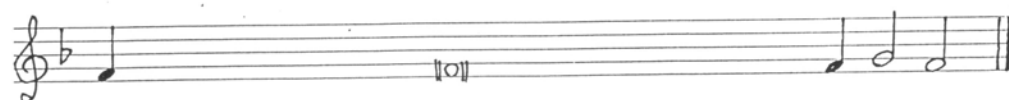
ゆえに至聖神はなんじのうちにいりて その行動をもて、うめくなんじを飾りたまえり



もとむ せいさんしゃのまえに いさみをたもつものとして



なんじがちえをもて 集めたる 牧群をきおくし



やくせしごとくわするるなくなんじの諸子をかえりみたまえ

小讃詞、第八調。

克肖者よ、爾は熱心にハリストスを愛して、易わらざる望を以て彼に従ひ、肉体の一切の逸楽を悪みて、日の

如く爾の郷国に輝れり、故にハリストスも奇蹟の恩賜を以て爾を富まし給へり。爾の光明なる記憶を尊む我等を記念して、爾に呼ばしめ給へ、神智なるセルゲイよ、慶べ。



こく肖者よ 爾は熱心に ハリストスを 愛して
易わらざる 望みを以て 彼に したがひ
からだ 体の一切の逸樂をにくみて 日のごとく爾の郷国に輝やけり
ゆえにハリストスも 奇蹟の恩賜を以て 爾を富ましたまえり
なんじの光明なる記憶を尊とむ 我等を 記念して
爾に呼ばしめ たまえ 神智なる セルゲイよよろこべ

提綱、第七調。

聖人の死は主の目の前に貴し。句、我何を以て主の我に施しし悉くの恩に報いん。



聖人の死は 主の前に とおとおし

使徒の誦読はガラティヤ書二百十三端。


「ア ril イヤ」、第六調、神を畏れ、其誠を極めて愛する人は福なり。



6調 ア ril イヤ ア ril イヤ アー ril イヤ

福音經の誦読はルカ二十四端。

領聖詞、義人は永く記憶せられ、悪評を懼れざらん。(111 聖詠)



義人は 永く 記憶せられ 悪評を おそれざらん